

きな目標、それから市民の夢をひとつ考えていかなければならないわけで、将来を考える会もひとつ、市長のこれからの御采配を期待するわけであります。

最後に、それを含めまして要望を申し上げて、質問を終らさせていただきます。

石川前市長の時代、すなわち昭和五十一年二月二十五日の議会で福生市の基本構想が議決されました。福生市の将来都市像である「活力ある市民のまち」を築くために、昭和六十年代を目指し実施すべき施策として提示されました。そして、それを土台として昭和五十九年二月に田村市長のもとで、将来的な事業のうち、何こう三年間の事業を具体化していくために福生市実施計画がつくられてまいりて、もうも、昭和六十年年度から六十二年度の三年間の実施計画が議員各位に配られたわけであります。

私は、この基本構想実施計画が間違っているとか、反するとか、そう申しているわけではございません。その内容をつくるまでには、福生市基

本構想策定過程を見ましても、市役所の英知を集め、市の長い歴史の上に立って、一つ一つ検討を積み上げて作成されたもので、異論があるわけもございません。しかし、一言申し上げるならば、たとえば商業について昭和五十二年の基本計画では、福生駅を中心として商業地域の整備を行い、西多摩の中心的な商店街形成を目指す、云々とあります。また、五十九年実施計画では、本市は西多摩地域における商業の拠点として、長年にわたり指導的な地位を確保してきた。しかし、最近周辺都市の商業施設の近代化計画は、大規模であり、さらに大型店の出店を初め、商業施設の整備が次第に進展するに伴い、当市を取り巻く商業環境の変化もテンポが早まり、商圈は徐々に侵食されつつある。今後、商店街の顧客吸引力をさらに強め、時代に対応した商業活動を行うために、商工会の指導のもとに経営診断や商店街診断等は継続させ、また、商業施設補助、中小企業振興資金制度の金融制度の充実に図っていく、云々とありますが、どう見てもこれは行政マンの総花的感覚の論を逸しません。特に、五十九年十一月に

出された西多摩地域広域行政圏計画の福生市の商業については、もっと
総花的で、計画に値しないものであります。

いずれにいたしましても、御提案申し上げるのは、新しい感覚、大
胆な発想で、行財政改革や福生市の将来像をどう立ていかなければ、
福生市はじり貧化してしまうということです。ぜひ、再三申し上げます
が、「マイタウン福生二十一世紀研究会」を田村市長のもとにつくって、
いただきたいということを懇願申し上げます。一般質問を終わらせていた
きます。ありがとうございます。（拍手）

○議長（田村市郎君） 次に、五番 赤星行人君。

（五番 赤星行人君登壇）

○五番（赤星行人君） このたび一般質問をするにあたり、私のため
御理解ある時間をお与えいただき、心より感謝いたします。

会議規則第八十六条の規定によりまして、すでに通告済みの方に
ついて一般質問をいたします。

市長には、二期目御就任後十カ月たちましたが、最近、特に言
葉の端々にやる気十分の姿勢を伺うとき、ともに闘ってきた一人として
まことに喜びにたえません。これから五万市民の頂点に立て、よき
指導者として理事者諸君が一致団結し、豊かで、快適で、活力あ
る「住んでよかった福生」を目指して御努力を要望するものであります。
そこで、福生市における地域防災資材庫建設について質問いたし
ます。

福生市には、現在三十五町会があり、各町会の自主防災組織に
ついては、市御当局の積極的御指導と市民の御理解ある御協力
体制により、着々と進行していることは、大変喜ばしいことであります。
福生市主催による自主防災組織研究会が、去る二月十九日商工会で
開催されましたが、寒い雪の降る悪天候にもかかわらず、百二十名近
くの人々が参加されたことは、いかにこの問題が重要であり、市民に関心
があるかということであり、資材庫を全町会に建設設置を要望す
るものであります。みずからの手で生命と財産を守る上から、必要だから

であります。会館のある所は敷地内に、ない所は状況をよく調査していただき、公園、学校、地域会館等、また、地域会館のない町会も二町会ありますが、役員が会合を持てる程度のもものを検討してはと思います。

なお、現在各分団に可搬式ポンプ六台、ろ水器六台が設置されていいますが、これを全町会に設置されるよう提言するものであります。

災害時における応急食糧乾パン一万二百九十三食ありますが、災害が長引いた場合、非常食の調達方法として、市内大手スーパーと市が契約をし、確保、パニック状態を起させないよう配慮が必要であるが、市長のお考えをお聞かせ願いたい。

次に、青梅線以東における防災施設の見直しについて。

すでに第一分団より第五分団まで、すべて青梅線以西にあり、当時の人口比重発展の段階で当然のことではありますが、新しく人口もふえてくる以東には、分団も備蓄庫もありません。大きい広域災害のとき、青梅線の高架線が寸断されたとき、消防自動車の侵入はもとより、応援

に駆けつけることも不可能な事態が発生したときを想定した場合、慥然としたものを感じます。

そこで、備蓄庫最低二カ所、また、分団一カ所の増設をも検討していただくよう強く要望するものです。

次に、災害時における電気関係の復旧対応について。

災害が発生し、暗やみでの生活は、今日の文化生活の中で一日として許されない。市民不安を大きくするばかりです。そこで、東京電力青梅営業所が受け持つ管内西多摩地域は、広大な面積であり、百五十名の職員で、大災害時には人手不足で、応急処理も不可能の状態に予想される。したがって、東京電力協力会なるものが組織され、地区の電気工事関係者は、東京電力の指示に従って応援体制をとるとのこと、当福生市にも電設会加入十二社がありますが、事前に市との契約があれば、直接市の指示により行動可能と聞いています。これらの対応はどのような考えているか、お聞かせいただきたいと思ひます。

次に、米軍横田基地民間機乗り入れについて。

現在、我が国に米空軍基地として、横田、三沢、岩国、嘉手納、普天間、厚木海軍基地の六カ所があります。三沢基地では、民間機使用、東亜航空札幌―三沢各一便、東京―三沢各四便が乗り入れしております。福生市民として、目前に飛行場があり、ここから外国国内に飛んで行けたらなあと思えない人はいないと思えます。私は、民間機乗り入れの最大の理由として、多摩モノレールは当福生に来ない。活力を取り戻すためには、多くの人々がどんどん来てくれなければ困ります。そうすることによって自然に活気づき、税収はふえるとの発想からであります。

市長に、そこでお伺いをいたします。

近隣の市町村との話し合いで、促進協議会なるものをつくり、関係官庁に働きかけていくお考えがあるかどうか。

また、ヘリコプター等による羽田や成田空港までの輸送等も検討していただきたいと思い、要望する次第です。長い長い年月がかかると思いますが、御努力を心より切望いたします。

八高線以東における都市基盤整備について、市の取り組み方を伺いたします。

福生市総合計画の五ページに書いてある文を引用すると、魅力あふれる住みよいまち福生市、すべての市民が愛着を持ち、住んでいくことに喜びと誇りを持つる本市の未来を実現するためには、安全で健康な生活を営めるというだけにとどまらず、便利で快適な生活環境が特色を持って整備され、豊かな市民生活を甘受できるようにする必要があります。とあります。

そこで、武蔵野橋よりポニーホテルまでのほそ長い幅の短い地形ですが、フライベートハウスと言われた建物が残り、老朽化が激しい。これらが建てかえられ、ミニ開発があり、都市基盤整備は他地区よりおくれている。行きどまりの道路が多く、狭い道、私道が多く、砂利道、排水問題、公園の不足、都営住宅、市営住宅の建てかえ時期等いろいろありますが、長期的基本計画に基づき、整備に力を入れていただきたい。

特にお願い申し上げたいのは、道路整備 第二に、公園設置を強く要望いたします。いろいろむずかしい問題もあることと存じますが、行政の指導力をもって、市長とともに語り、話し合いながら、よりよいまちづくりに御努力くださるよう要望いたします。

市長初め担当部長の御答弁をお願い申し上げます。

○議長(田村市郎君) 二時五分まで休憩いたします。

午後一時五十四分 休憩

午後二時六分 開議

○議長(田村市郎君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を行います。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君) 赤星議員さんの御質問にお答えいたします。防災について、第一点の地域防災資材庫の建設についてお答えいたします。

防災対策につきましては、議員各位の御指導を賜りまして、施設等につきましては逐次整備しております。さらに本年度は、町会長さんを中心に三十五町会に自主防災組織をつくっていただきたいと思います。市といましてその育成、援助に務めてまいりたいと考えております。また、市の防災対策につきましては、現在の福生市地域防災計画を全面的に見直しまして、その対応に努めてまいりたいと考えております。

第一点目の地域防災資材庫の建設につきましては、その大きな場所の確保等の問題もございますので、結論が出た段階で議会に御相談申し上げます。その間取り組んでいきたいというふうを考えておりますので、よろしくお願いいたします。

非常時の食糧の確保等につきましては、東京都地区防災計画の中に区市町村に対する対応策がとられておりますので、それとの関係をも十分検討してまいりたいと考えておるわけでございます。

二点目の青梅線以東における防災施設の見直しについてでございます。

が、御指摘のとおり、備蓄庫がございません。場所の選定等がござい
ますので、その他の防災施設と合わせて、別向きにこれも検討
させていただきますと思っております。

次に、第三点目の災害時における電気関係の復旧対策についてご
ざいます。この件につきましては御指摘のとおりでございますので、東
京電力とも十分調整をいたしまして、市内の電気工務店の御協
力をいただきますよう協力をお願いしてまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、冒頭に申し上げましたように、福生市地
域防災計画を見直しまして、防災人に対する市の大綱を決めていき
たいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

第二点の米軍横田基地について、民間機の乗り入れについてござい
ます。横田基地への民間機の乗り入れ、あるいは成田、羽田へのりによる旅
客輸送、福生市の活性化を図るための大変貴重な御提言をさ
うだいたしました。共同使用につきましては、米軍側の考え方、
運輸省の許認可、採算性、それから御指摘の周辺市町の御意

向、騒音問題等検討すべき点も多々あるうかと思っておりますので、こ
うした点を十分に調査、研究させていただくとともに、必要に応じて関
係機関とも積極的に折衝してみたいと考えております。

次に、第三点目の八高線以東における都市基盤整備について、市
の取り組み方でございますけれども、赤星議員さんの申されたとおり、

当地区のことについては、早くから開発、整備等を考えておく必要があ
ると思います。確かに当地区には、外人ハウスだったかなり老朽化した多
くの建物があったり、また、それが建てかえられてミニ開発が進みつ
つあり、いわゆるスプロール化が懸念されます。そして、比較的新しい市

民の方が多く生活しておる所でもあります。また、道路の問題やオー
ンスペースも少ないといった問題もございします。したがって、むしろ
早く何らかの手だてを考えなければいけないことは確かでございます。
そこで、大変抽象的でございますけれども、基本といたしまして、私

は、市の基本構想並びに基本計画の中でとらえておるとおり、未整備
地区の都市基盤整備のプランを急遽樹立し、取り組むべきが至

当であるかを考え、今具体的なことは何も申し上げませんが、当地区は、福生市でも一番高台にあって遠景などもすばらしく、ふだんは最高の住宅地であります。

このようなことから、このまちづくりには何か一つテーマを持って取り組むことが望ましいと思います。できる限り早い時期に調査をいたしまして、よりよい手法を検討させていただきましますので、よろしく願います。以上、私からの答弁とさせていただきますが、部長からも答弁をさせていただきますので、よろしくお聞き取りいただきたいと思います。

○建設部長（森田 進君）

自席からお許しをいただきまして、ただいま御質問のございます第三点目の八高線以東における都市基盤整備について、市長の答弁を補足させていただきますが、まず、八高線以東の面積でございますが、全部で約五十五ヘクタールでございます。

それで、公園につきましては、一番武蔵野橋に近い所に多摩川台公園、それから、東福生に近い所にわらつけ公園の二つの公園が一応位置してございます。そのほか基本計画の中では、八高線以西にござい

ます福生公園であるとか、そういったものが公園の影響範囲とそんなふうな形になってございます。

それから、道路でございますけれども、道路については、今市道といたしましては、七十三本ございます。それから、そのほかに私道が百四十三本ございます。この私道と市道の比率が非常に高くなっているわけでございまして、市全体では、大体市道と私道は、市道が六割、私道が四割とそういうふうな割合でございまして、この地域については、そういう意味では公道としての道路整備が若干おくられていると、そういうふうなことが言えるわけでございます。

今、市長の方から申し上げましたとおり、実際に開発というふうな形になりますと、今手かけている課題もございしますので、若干先に行くと思えますが、当面、今の公園、あるいは道路等につきましては、それまでの間、やはり公道としての整備、あるいは公園等についても、八高線以西の公園ですと影響範囲に入っておりますが、なかなか利用というふうな形になりますと問題も多からうとそんなふうなことで、できるだけそういう意味では、公園あるいは道路についてできるだけ早い時期に整備あるいは手当てを

していきたいとそのように考えております。以上でございます。

○五番（赤星行人君） 大変御丁寧な御答弁をいただきまして感謝申し上げます。

一応、自席から防災関係でお尋ねいたします。

現在、各町会に配付されている器材は、ヘルメット、それからのはり、救急箱と聞いていますが、これから担架とか、スコップ、つるはし、土のう、メカホンまたは大型バケツ、懐中電灯等のそういう機材を用意していただく意思があるかどうか、この辺をお尋ねしたいと思っております。

それから、第二点は、自主防災ということでございますので、各町会単位の訓練実施、これは恐らく市の方で音頭をとっていただいて御指導があると思うんですが、つい最近、市民会館で三月二日だったんですが、消防署それから第三分団、それから市民会館の職員の方々が集まりました。実際に実施、訓練をしておられました。

こういうことを考え合せたときに、本庁舎もしくは人の集まる公的機関——体育館とか、地域会館等もございます。そういう中

で、今後ひとつぜひ、こういう訓練を実施していただくようお願いするんですが、そういうお考えをひとつお聞かせいただきたいと思います。

それから三番目に、消火栓の配置でございますが、第一回目の中で御質問いただきましたように、消火栓は現在四百七基設置されているというふうに、福生市の資料の中で拝見いたしました。それで、これの青梅線以西とそれから以東におけるバランス、この辺がどうなっているかお尋ねいたしたいと思っております。

それから、特に火害というものは、いつ何ときやってくるかわかりませんが、冒頭申し上げました青梅線以東の各町会には、可搬式のポンプ、これはひとつ早急に設置していただくようお願いするわけですが、そういう考え方に基づいた場合に、いつごろそういうことを実施していただけるのか、その辺のお考えをお尋ねしたいと思います。

一応、防災関係についてお尋ねいたします。

○市民部長（古谷正夫君） 自席からお許しただきまして、三点ほど御質問に対してお答え申し上げます。

第一点の備品関係でございますけれども、資材庫ができました場合に機材をどのように収納するかというふうな内容でございますけれども、一応一般的に申し上げさせていただきますと、小型発電機、投光器、消火器、緊急薬品のセット、それから担架、天幕、受令器、トランジスタラジオ、ハンドマイク、ハンマー、そういうふうなものがあるわけでございます。さらに毛布、寝袋、それから可搬式ポンプ等があるわけでございますけれども、また、食糧といたしましては乾パン等があるわけでございますが、そういうものは一般的に収納しておるわけでございます。

なお、これらにつきまして私どもでも、先ほど市長が答弁申し上げたとおりでございますけれども、防災計画を見直す中で、収納いたします備品についても十分検討させていただきたいというふうなことで御理解していただきたいと思います。

次に、第二点目の消火栓の設置状況でございますけれども、これは御指摘のとおり、五十九年の四月一日現在でございますけれども、四百七カ所でございます。

それで、青梅線以東と以西というふうな問題でございますけれども、

青梅線以東につきましては、百八十九カ所でございます。パーセンテージで申し上げますと、四六・四〇というところでございます。そのうち八高線以東につきましては、百八十九カ所のうち六十二カ所でございます。その率を見ますと、三二・〇というふうな設置状況でございます。

それから、次の三点目の町会の訓練計画でございます。

各町会に訓練が計画されますと、いろいろな自主防災が組織されて、そういう訓練計画があるわけでございますけれども、それらにつきまして、計画の日程その他が決まり次第、消防署とも連絡いたしまして、計画に参画させていただくというふうな考えを持っております。次に、可搬式ポンプにつきましてはでございます。実施時期というふうな御指摘がございましたけれども、これにつきましては、この計画ができ次第早急に設置するよう努力していきたいというふうに考えております。以上でございます。

○ 総務部長（浅見裕康君）

自席から職員に対しますいわゆる防災の訓練の実施に対します考え方についてお尋ねがございましたけれども、

図書館とか市民会館につきましては、建築の時点である程度消防署の御指導等もいただいております。自主的なものでございませうけれども、継続的に訓練を実施しているということでございます。それで、本庁舎につきましましては、これはまだ余りはきりした組織はつくっておりますけれども、当面管財課で、適宜年間何度か自主的な訓練をしているという程度でございします。

いずれにいたしましても、自主防災組織ができた、あるいは通常の防災に対する認識というものが非常に高まっている中で、役所の職員といたしましても、その辺の認識を十分強く持つていかなきゃならないというふうな考え方を持っております。一応内部で十分検討いたしまして、これらについての対応、具体的な組織そういったものについて、今後十分にそれに対応できるような制度的なものを確立をしていきたいと考えております。以上でございします。

○五番（赤星行人君） 大変御理解ある御答弁をいただきました。ありがとうございます。大いに期待いたしております。

さて、八高線以東における考え方としまして、このことについてお尋ねいたします。

既に御承知のとおり、一六号線の拡張、六十二年目標で目下進行中ですが、そこで、完成に準じて人集めのためのウエスタン調の展示場と申しますか、そういうものを検討してみたらどうかというふうな思っております。これは要望ということではお願いしておきます。

それから、都営住宅の建てかえ、もしくは市営住宅の建てかえの時期等をお尋ねいたします。

○企画財政部長（内田和雄君） 都営住宅の建てかえにつきまして自席から答弁させていただきます。

先般、東京都の方からまいりまして、こんな形でやっていきたいというふうなお話がございました。ただ聞きおくということで一応聞いておいたわけですが、あそこには第三都営、第四都営、第五都営の三つがございます。それからあと、基地の向こう側には第二都営があります。まず、第三都営の関係ですが、一期工事を昭和六十年度に一部